

第3回文化芸術推進基本計画策定検討委員会

議事要旨

日時：令和3年11月11日（木）
午後6時30分～7時10分
会場：602・603会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
 - ①アンケート集計結果の補足について
 - ②基本方針・計画（素案）について
 - ③パブリックコメントの実施について
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

【配布資料】

- 1 文化芸術に関するアンケートまとめ
- 2 基本方針・計画（素案）について
- 3 パブリックコメント実施要領

出席者（敬称略）

委員長・・・新谷尚紀（昭島市文化財保護審議会委員）

副委員長・・・井田勝己（東京造形大学教授）

委員・・・大澤俊則（昭島市文化協会）、幸田義康（昭島市民会館文化事業協会）、阿部哲也（昭和の森芸術文化振興会）、臼井哲夫（昭島郷土芸能協会）、熱田喜信（昭島市商工会）、青木和昭（一般社団法人昭島観光まちづくり協会）、田内實（老人クラブ連合会）、信國遙（昭島市社会教育委員）、河村久理子（公募市民）、武井大貴（公募市民）

事務局・・・萩原政策担当部長、村山企画政策課長、佐久間企画政策係長、田中主事
倉片生涯学習部長、塩野社会教育課長、立川市民会館・公民館長

1 開会

事務局・・・ 本日は、お忙しいところ、昭島市文化芸術推進基本計画策定検討委員会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

コロナ感染症の新規感染者の状況は落ち着きを見せておりますが、感染症への対応はまだまだ続くものと思われますことから、引き続き感染拡大防止の観点から、スムーズな運営を心がけたく存じます。

概ね1時間を目途に終了できればと考えていますので、ご協力をお願いします。

それでは委員長をお願いします。

2 委員長あいさつ

委員長・・・ ただいまから、第3回昭島市文化芸術推進基本計画策定委員会を開会いたします。

前回10月に行われました第2回委員会の議事要旨については、事務局から事前に配付されており、事前のご意見はなかったようですが、何かお気づきの点等ございますか。

委員長・・・ ご指摘の点などないので、第2回委員会の議事要旨は委員会で確認されたものとします。

次に、本日の資料の確認をお願いしたいと思います。事務局よりお願いいたします。

事務局・・・ それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていただいております、「文化芸術に関するアンケートまとめ」、「文化芸術推進基本計画策定（素案）について」、机上配付といたしまして、「本日の日程」、「パブリックコメント実施要領」になります。不足などありませんでしょうか。

以上です。

3 議題

(1) アンケート集計結果の補足について

委員長・・・ それでは、議題(1) アンケート集計結果の補足につきまして、事務局から説明をお願いします。

事務局・・・ (1) アンケート集計結果の補足について 事務局よりご説明させていただきます。

資料、文化芸術に関するアンケートまとめの2ページ目をご覧ください。

前回の委員会では資料にある全体の数字をお示したところですが、今回はその下に10代から50代、60代以上に分けて追加で集計を行いました。10代から50代は218人、60代以上が602人となっております。

年代別に分けたもので、差がでたもののうち2項目をピックアップして、ご説明させていただきます。

まず14ページをご覧ください。今回の調査から追加した項目、「情報の入手手段」でございます。広報あきしまが10代から50代では26.0%、60代以上では39.6%、インターネットとツイッター・ラインなどのSNSが10代～50代では18.2%と9.9%、60代以上では5.8%と1.0%となっております。

まだまだ広報あきしまが有効な情報発信手段ということになりますが、時代の流れとしては、インターネットやSNSが今後は重要な手段になってくることが数字で見受けられます。

続きまして、19ページをご覧ください。「昭島市をアピールできる文化的特

徴」でございます。「アキシマクジラ」について10代～50代が52.7%、60代以上が39.4%となっており、子どもたちの学習の機会が拡大している効果が出ているのか、引き続き「アキシマクジラ」のさまざまな取組を展開することが期待されていると読み取れます。

その他では、文化芸術活動を行っている率や、団体活動を行っている率が60代以上の方が高くなっている等の傾向が見受けられますが、今回の説明では省略させていただきます。

なお前回の方針策定時のアンケート結果との内容比較については、調査方法が変更となっている影響が大きく出ているので、単純比較は難しいものと考えております。

以上、年代別集計を追加したアンケート結果の補足説明になります。

委員長・・・ それでは質問等お受けしたいと思います。

<特になし>

(2) 基本方針・計画（素案）について

(3) パブリックコメントの実施について

委員長・・・ 次に、議題（2）基本方針・計画（素案）について、議題（3）パブリックコメントの実施について、事務局から説明していただきます。

事務局・・・ 議題（2）基本方針・計画（たたき台）について

はじめに、事前送付資料でお示した（素案）ですが、第2回委員会で皆様から頂いたご意見、その後の庁内委員会での検討内容、いただいたご意見等を踏まえ、取りまとめたものです。

大所は前回までと変わっていませんので、本日は前回からの主な変更箇所を中心にご説明をさせていただきます。

10ページ、「Ⅱ基本計画の期間」でございますが、基本計画は10年の計画としていますが、中間期で所要の見直しを行う予定であることから、前半の5年を前期計画、後半の5年を後期計画としていく旨の説明を追加いたしました。

11ページでございますが、ページの中ほど、文化芸術の内容につきましては、委員からのご指摘を受けまして、改正された基本法の内容と整合をとり、伝統芸能に「組踊」を、生活文化に「食文化」を追加いたしました。

16から17ページにかけてですが、SDG s の17の目標の説明を追加いたしました。

18から27ページでございますが、それぞれの基本施策にSDG s の基本目標を位置づけました。なお、位置づけた基本目標につきましては、市の最上位の計画であり、現在、審議会で策定を進めている総合基本計画と整合をとっておりますのでよろしくお願いいたします。

21ページ、前回の委員会での議論の内容を踏まえまして、「文化芸術を観光資源とした見学ツアーの実施」を再掲として追加いたしました。

22ページ、「大学等教育機関との連携」につきましては、委員からもご意見をいただいたところですが、「白神のアキシマエンス」の展示で連携の実績のある東京造形大学の記載がありましたが、計画に掲載するにあたっては連携の実績がない教育機関との連携も視野に入れる必要があることから、記載のとおり書きぶりを修正しました。

29ページ、「3情報の収集及び提供」の部分、情報の提供についてですが、アンケート結果等を踏まえると、年齢や障害の有無にかかわらず、あらゆる人に文化芸術に親しんでもらうため、広範な情報提供が必要であるといった考えから、「子どもから高齢者、障害者などの市民の誰もが、文化芸術に親しみ、」の部分を追加しております。また、提供する情報の媒体についても、従来の広報、HPに加え、SNSも積極的に活用していく旨の記載に修正いたしました。

31ページ以降の資料編につきましては、パブリックコメントの対象にはしないものでございますが、最終的に、お示ししている内容（昭島市の文化遺産、アンケート結果、条例、委員会実施経過）で冊子に盛り込んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

議題（3）パブリックコメントの実施について

（素案）につきましては、本日、委員の皆様にご確認をいただいたうえで、12月17日より1か月をかけて、市民の皆様からのご意見を募集するため、実施要領のとおりパブリックコメントを実施いたします。

これまで、（素案）の取りまとめにあたり、ご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。

パブリックコメントにかける（素案）につきましては、記載の公共施設で配布します。また、閲覧もしていただけるよう、準備いたします。加えて、ホームページ上からの取得や、郵送での送付のご希望にも対応いたします。

意見の提出につきましては、資料記載のとおり窓口での提出、郵送、FAX、メールによりしていただくこととしております。

提出にあたっての注意事項は記載のとおりです。他の計画のパブリックコメント実施の際もご質問がありましたが、パブリックコメント後は委員会の皆様にご確認いただきながら回答を作成しますが、ご意見をいただいた方に対して個別の回答をするものではありません。

また、市に対する個別の要望ととれる内容についても、パブリックコメントとしましては想定していませんのでご承知おきます。

委員長・・・ 前回の委員会のご意見を反映した形で、今回の計画（素案）を作成しております。これについて、ご意見等ありますでしょうか。

阿部委員・・・ 基本計画の期間ですが、前期計画5年間、それを検証して後期の施策を検討するとありますが、SDGsの目標期間は2030年までなので、本計画期間と比べると空白期間が発生することになるがどのように考えていますか。

事務局・・・ 後期計画検討時にはSDGsは有効であり、そのタイミングでは一定の評価ができます。後期で空白期間が出る可能性はありますが、SDGsの概念は継続していくものと考えます。

阿部委員・・・ そのとおりで異議はないですが、基本計画期間の記述に、「後半期の具体的な施策を検討する、見直しをする機会を設ける」等の一文を入れておくにより柔軟な対応ができると思います。

武井委員・・・ 今のSDGsはもともと2015年までに掲げた目標の、後継事業であります。後期

計画検討の段階で、世界の課題が全て解決できているということは難しいと思いますので、後継の目標ができていれば、その時の職員や委員等が対応するような引き継ぎをしていただければいいと考えます。

信國委員・・・SDGs との関係性を消極的につけているが、もっと幅広につけてもいいのではないのでしょうか。おおもとが決まっているから、これ以上つけるのは難しいのでしょうか。

事務局・・・総合基本計画の内容に準じて、色濃く該当しているものを反映しています。

委員長・・・本日いただいたご意見を踏まえ、事務局にご検討いただき、その結果を委員長、副委員長職で確認をし、それをもちまして、パブリックコメントに進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

4 その他

委員長・・・次に、日程4 その他として、委員の皆様から何かございますでしょうか。事務局から何かございますか。

事務局員・・・次回の委員会でございますが、2月の上旬を目途に、本日と同じ時間での開催を予定しております。

パブリックコメントの結果についてご確認いただき、それを踏まえまして計画を最終的に取りまとめる最後の委員会になりますのでよろしくお願いいたします。

具体的な日程は委員長と相談のうえ、決定次第ご連絡いたします。

幸田委員・・・昭島市の計画になっていますが、東京都とか友好都市の岩手県岩泉町とかとの連携、協力を考えているのでしょうか。

事務局・・・基本施策④多様な主体との連携、主要施策の中にある「関係団体、企業との連携の促進」事業で、当然連携していく団体として視野にあると考えています。

委員長・・・今の意見を踏まえまして、事務局で進めていくということでよろしいでしょうか。

日程については、何かありますでしょうか。

青木委員・・・2月については、水曜日を除いていただけるとありがたいです。

5 閉会

委員長・・・以上で、第3回検討委員会を終了します。お疲れ様でした。